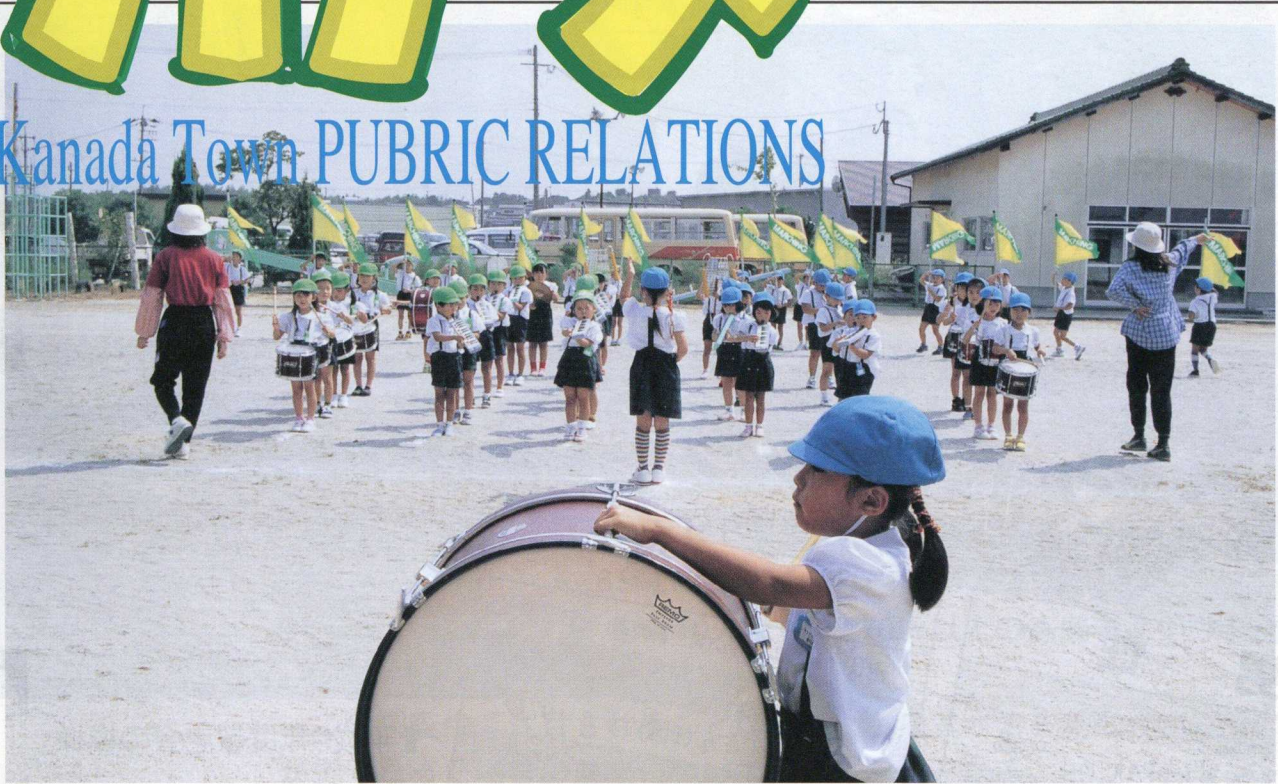


広報

# かなだ



Kanada Town PUBLIC RELATIONS



## 本番に向けて、猛練習!!

運動会に向けて、ひらばる幼稚園では鼓笛隊の猛練習が毎日続いています。

鼓笛隊編成は、年長のゆり・すみれ組の園児たち50人がそれぞれ楽器やカラーガードを担当。鼓笛隊リーダーのみゆちゃんは、夏休み返上で先生とマンツーマンで練習を続けてきました。

この鼓笛隊は、運動会のメインイベントとして毎年続けられているようで、10月10日には見事な演技を披露してくれるそうです。園児たち一人ひとりの一生懸命な姿は感動ものです。

## CONTENTS

- 特集 在宅介護……………(P2～7)
- まちのわだい……………(P8～11)
- 災害に備える……………(P12～15)
- こんにちは保健婦です……………(P16～17)
- みんなのひろば……………(P18～19)
- 暮らしのインフォメーション…(P20～23)



# 在宅介護

特集

## 長寿ベストイレブン

(9月15日現在)

男性		女性	
山本喜三郎さん(2区)	96歳	吉田 テルさん(第二長寿園)	102歳
大堀 英明さん(1区)	93歳	宮本 タツさん(6区)	98歳
後藤要重良さん(6区)	93歳	森山 トメさん(1区)	97歳
松尾 覚 さん(6区)	91歳	福原 フシさん(第二長寿園)	97歳
相浦 三歳さん(7区)	91歳	中川ハルエさん(1区)	96歳
世並 虎治さん(9区)	91歳	上野アサエさん(3区)	96歳
伊東 栄一さん(3区)	90歳	荒牧ミサヲさん(3区)	95歳
原田四万男さん(4区)	90歳	平島キヨノさん(第二長寿園)	95歳
藤本富士松さん(5区)	90歳	田中 壽 さん(長寿園)	94歳
和田 孝助さん(7区)	90歳	富永 サヨさん(福智園)	94歳
今里 勇三さん(第二長寿園)	90歳	三村シズエさん・打田アヤメさん 福本スガエさん	96歳

### ↑平成9年度敬老会の模様

台風19号の影響で開催が危ぶまれた平成9年度の敬老会が、15日の敬老の日に予定通り行われました。今年の70歳以上の該当のお年寄りは1,092人。会場となった町民会館には650人余りが集まり、婦人会の踊りや大行事みよ子オンステージなどアトラクションが催され、なかなか敬老の一日となりました。町内の最中寿は女性では102歳になる、吉田テルさん(第二長寿園)。男性では山本喜三郎さん(二区)、96歳です。また式典では米寿や金婚式を迎えられる25組の夫妻に記念品が贈られました。

将来、自分や家族が病気がちになり介護が必要になったらどうしますか。若い世代に対しては、少しピンとこないことでしょう。「しんぶん」21世紀初版には4人に1人が65歳以上のお年寄りという、高齢化社会を目前にして介護の問題はだれもが避けて通れない切実な問題です。全国の60歳以上の男女3千人を対象に総務庁が行った「高齢者の健康に関する意識調査」を9月14日付けで発表しました。それによると全国で65歳以上の人口は1973万人、全人口に占める割合は15.6パーセント。また10人に1人が70歳以上の高齢者という結果が出されました。

この調査中で注目されることは、万一、病気が治る見込みがなく、死期が近くなった場合の対応について聞いてみたところ、80.2パーセントの人は「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」と回答、「あらゆる医療を行ってほしい」の11.5パーセントを大きく引き離しています。

また介護が必要になった場合に介護を受けたい場所としては、「自宅」と答えた人が47.8パーセントとほぼ半数を占め、「病院などの医療機関(19.4%)」「福祉施設(9.5%)」の回答を大きく上回りました。

豊かな老後を自宅で過ごせるようにと、国はゴールドプラン(高齢者保健福祉推進十カ年戦略)、さらに新ゴールドプランを策定。それぞれ各市町村では、老人保健福祉計画が策定され、地域の実情にあったホームヘルパー派遣、ショートステイ、デイサービスなどの在宅福祉サービスが行われています。

今回の特集では、自宅で介護している家庭の実情を紹介し、これからの在宅介護を考えてみます。



谷田夫妻は、昭和47年6月に金田町に移り住み25年が過ぎた。夫の里男さん(81歳)は、20歳のときからタクシードライバーとして働き、金田町に越してきて田川構内タクシーで10年前まで働いていたそうだ。夫妻は、結婚して69年目。子ども二人に恵まれ、ごく普通の生活を続けていた。あのときまでは――。

# 在宅介護特集

## 「最初、ワシがまいるごとあった。病院往復、食事の世話を考え、自宅介護を決意する。」

### 夫婦ともに障害者

千代子さんは、脳梗塞による両上肢機能障害・両下肢全廃の身体障害者手帳1級。加えて里男さんは、右変形性股関節症により、右股関節機能全廃で身障4級の認定を昭和60年、いまから12年前に受けている。「テレビなんかで障害者のことやっとなる番組があるじゃろ。わしゃ(見ると)涙がこぼれるたいね。」

「ワシの足のこともあってな、人から介護が楽になるっち勧められて老人ホームに4か月ぐらい入ったけど、その間にも熱出してな、いつまでもおっても同じことやないかち思ってたところに、知り合いに骨折ってもらうて、ここ(堀川団地身障向け住宅)に入れることになったな。」と、9月でまる3年が過ぎようとしている。

### 病院との往復の毎日……

当時64歳だった千代子さん(79歳)が、思いも寄らない交通事故にあった。

通勤中に自動車からはねられ入院。

「事故のけがは治ったけどな、しばらくはなんともなかったんじゃ。事故の後遺症じゃろうか、急に倒れたな。それからじゃよこうなったの。」

と当時を振り返り里男さんは語る。

「倒れて入院したころは、まだこれ(千代子さん)の身体も動けてたけど、6年前から動けんごとになってな、それから介護が始まったんよ。」

と自宅に連れて帰る前は、病院と家の往復が毎日続いたという。

「最初、ワシがまいるごとあった。お金のことや何やら、子どもにせびるわけにもいかんし、どげしようかと思っただね。」

「これが入院するまで、炊事とかしたことがなかったんじゃけどな。不思議なもんじゃね、ワシ一人じゃったからそれからおぼえた。外食したことねえからの。朝5時におきて弁当作って、病院に行くんよ。病院じゃ看護婦さんたちがこれに食べさせてくれるけど、時間が決まっとう。食べんなそのまま引いてしまうからの、入っるととき瘦せっしもてな。これじゃいかんち思うてつれて帰った。」

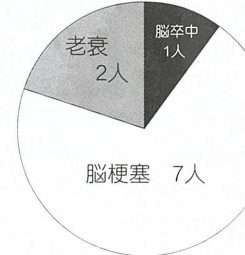
と、病院との往復、食事の問題などを考えて、自宅での介護を決意する。



## 介護手当を受給している世帯に聞いてみました。

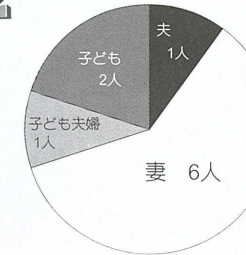
(介護手当とは、自宅で寝たきりや病ほう性の65歳以上のお年寄りを6か月以上介護しているご家族に月額5,000円を支給する制度です。詳しくは福祉課まで。)

### Q1 寝たきりになった原因は?



寝たきりになった原因はとお聞きしたところ脳梗塞、脳卒中によって身体がマヒし寝たきりになったということでした。現在の年齢は69歳が1人、70歳代が5人、80歳代が2人、90歳代が2人。寝たきり歴は1年から長い人で20年にもなるそうです。

### Q2 介護は主にだれがしているか?



介護を主にしている人は、夫が1人、妻が6人と長年連れ添った方が介護しているようです。また同居の子ども(子ども夫婦)と答えた人は3人でした。